

事務事業チェックシート

事務事業No 549 事業名 消防団施設整備事業

[事業基本情報]

分野別目標	1	安心して、安全に暮らせるまち
政策	2	消防・救急救助体制の充実
施策	2	消防力の充実
基本方針	3	非常備消防力の強化

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		消防費	
	項		消防費	
	目		消防団費	
	大事業		消防団事業	
事項		消防団施設整備事業		

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間		～	
事業実施の根拠法令	消防組織法・消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律		
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	消防総務課	山下 直樹	(426-0119)
関連課			

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	各地区消防分団の消防施設等の強化充実、消防団活動に必要な不可欠な消防機械器具等の購入及び老朽化した器具の更新を図り、地域防災の中心的な役割を担う消防団の整備を行う。	消防用ホース等の資機材の購入及び維持管理並びに消防団施設及び通信器具等の整備 小型ポンプ（軽四）積載車の購入配備				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		・消防分団器具庫の修繕工事3件 ・警鐘台修繕工事 2件 ・その他機械器具8消防分団に対し16件の整備 ・小型ポンプ（軽四）積載車7台購入配備	・消防分団器具庫建替え1件 ・消防分団器具庫の修繕工事4件 ・モーターサイレン修繕1件 ・その他機械器具9消防分団に対し14件の整備 ・小型ポンプ（軽四）積載車7台購入配備	・消防分団器具庫建替え1件 ・消防分団器具庫の修繕工事 ・モーターサイレン修繕 ・その他機械器具の整備 ・小型ポンプ（軽四）積載車購入配備	・消防分団器具庫建替え1件 ・消防分団器具庫の修繕工事 ・モーターサイレン修繕 ・その他機械器具の整備 ・小型ポンプ（軽四）積載車購入配備	・消防分団器具庫建替え1件 ・消防分団器具庫の修繕工事 ・モーターサイレン修繕 ・その他機械器具の整備 ・小型ポンプ（軽四）積載車購入配備

2 事業コスト

事業費等 千円		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算
	事業費	42,382	41,567	4,181	44,906	48,008		48,008		48,008	
	伸び率 (%)	-	-	-90.1%		1048.2%		0.0%		0.0%	
	人件費	常勤職員	6,078	6,203	6,203	6,243	6,243		6,243		6,243
		非常勤職員									
		小計	6,078	6,203	6,203	6,243	6,243		6,243		6,243
	国庫支出金										
	県支出金										
	市債	40,000	29,800			39,000		39,000		39,000	
	その他				35,441						
一般財源（税等）	2,382	11,767	4,181	9,465	9,008		9,008		9,008		
所要人数	常勤職員	0.82	0.82	0.82	0.84	0.84		0.84		0.84	
	非常勤職員										
主な予算内訳		需用費1,265千円、役務費890千円、消防施設費補助金1,096千円、整備工事請負費5,043千円、自動車購入費39,312千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況					平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	小型ポンプ（軽四）積載車貸与台数					年度目標値	7	7	7	7
						実績値	7	7		
	単位	台	全体目標値	7	全体目標達成度	100.0%	100.0%			
						年度目標値				
						実績値				
単位		全体目標値		全体目標達成度						
成果指標	消防ポンプ積載車台数の維持					年度目標値	129	129	129	129
						実績値	129	129		
	単位	台	全体目標値	129	全体目標達成度	100.0%	100.0%			
	消防ポンプの正常可動率					年度目標値	100	100	100	100
						実績値	100	100		
	単位	%	全体目標値	100	全体目標達成度	100.0%	100.0%			
					年度別達成度	100.0%	100.0%			

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正		負担は求められない	○ 見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	平成23年度から年間7台ずつ消防団車両の購入貸与を実施し、また各地区の拠点となりうる器具庫の建設を整備するなど地域の要望に沿う形で消防団施設等の整備を図ってきたが、今後も引き続き計画的に整備を進めていきたい。
「見直し」 「改善」案	消防団は、地域住民にとって身近な市町村の消防機関であり、地域の安全確保や各種災害対応には、消防団施設の充実が不可欠である。消防団施設の整備については、公費による整備を行っているが、補助金制度により行っている事業もあることから、公費負担の在り方について引き続き検討していきたい。